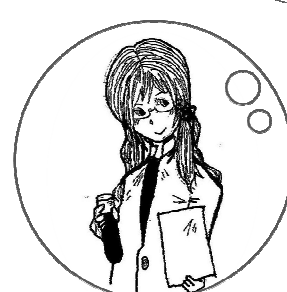
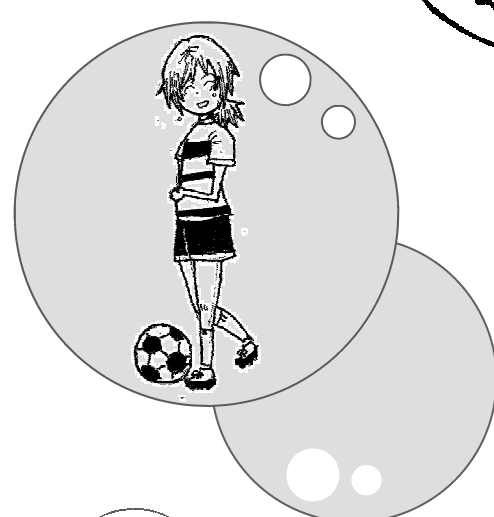
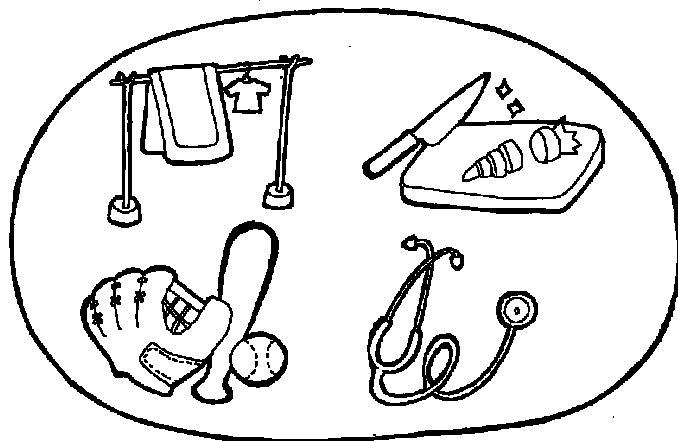


自分らしく

Vol. 2



「男女共同参画」ということばを聞いたことがありますか？
性別にかかわらず、みんなが自分の能力や個性を發揮できる社会が、
男女共同参画社会です。

みなさんにとっては「そんなの当たり前！」ですよね。
でも、気がつかないうちに、「オトコ」だから、「オンナ」だからと、
自分のやりたいことや好きなことを我慢したり、選択の幅を狭めたり
していませんか。

一人ひとりが性別にかかわらず自分の夢や希望を広げ、そしてお互い
に仲良く助け合って生きていくことができる社会を実現するため
に、一緒に「男女共同参画」について考えてみましょう。

あなたの将来の夢は？～大学生にインタビュー～

みなさんの将来の夢は何ですか？
長久手町にキャンパスをもつ愛知医科大学の医学部で学ぶ大学生にインタビューをしました。
先輩がどのように進路を決めたのか聞いてみましょう！



将来は地域のみなさんに頼りにされる
「まちのお医者さん」になりたい。

愛知医科大学医学部5年生
可知 壘沙子 さん

◆Q1 祖父、父が医者として患者さんのために働いている姿を見て、私も将来は人の役に立つ仕事がしたいと思いました。高校生の時、地域のおばあさんたちに「将来はあなたが診てね」と言われ、地域の人たちの役に立ちたいと思い、医学部をめざしました。

◆Q2 愛知医科大学の魅力は、「勉強するときはしっかり勉強する」、「遊ぶときは思いっきり遊ぶ」というように、メリハリのある生活ができる環境が整っていることです。現在は、大学病院で実習しています。難しいこともありますが、患者さんに「勉強頑張ってるね」と励まされると、やりがいを感じます。

◆Q3 先輩のお医者さんの生活スタイルはいろいろです。私は、医者という仕事を続けながら、家庭をもって育児をしていきたいので、職場に保育所が併設されるなど、仕事をしながら育児ができる環境が整うといいと思います。

◆Q4 地域のみなさんに頼りにされる「まちのお医者さん」になりたいと思っています。女性じゃないとわからない悩みや、女性だからわかる悩みもあると思います。患者さんの悩みのわかる、あたたかいお医者さんになれたらと思います。

◆みなさんにメッセージを◆

中学生のころは、お医者さんだけではなく、いろんな夢を膨らませていました。みなさんも今は、いろいろな職業に興味を持つといいと思います。そして職場体験などの機会に、どんどん興味のある職業を体験して、自分らしい将来の夢を膨らませてください。



「医者」に憧れて、医学部へ。目標を持って
一生懸命がんばれば、夢はきっとかないます!!

愛知医科大学医学部4年生
竹内 はじめ さん

◆Q1 家族に医療関係者が多く、小さいころから医療関係の仕事が身近でした。一番のきっかけは、70歳の今も現役の理学療法士として働く祖母の存在です。私はたくさんある医療関係の仕事の中でも、「医者」に憧れて医学部を目指しました。

◆Q2 愛知医科大学は、救急の拠点病院であることが魅力です。大学の部活動では、救命蘇生法の勉強や、普及活動を行っています。全国の同じ思いで活動する学生や医療関係者とのネットワークができ、人とのつながりのなかで多くのことを学ぶことができ、とてもやりがいがあります。

◆Q3 仕事も家庭も大切にしたいのは男性も同じです。病院に男性と女性の両方の医師がいることで、得意分野をフォローすることができるように思います。そのために、仕事をしながら育児ができるように、託児所やフレックスタイム制などの多様な勤務体制になるといいと思います。

◆Q4 高齢化が進む日本では、幅広い知識で診療ができる「総合診療医」が必要とされていることを病院実習で学びました。私は外科を専門的に勉強したいと思っていますが、将来的には総合診療医をめざしていきたいと思っています。

◆みなさんにメッセージを◆

まだ将来の夢は漠然としているかもしれませんが、部活動でも、勉強でも、趣味でも、「目標」を持って、何かに一生懸命打ち込むことが大切だと思います。今は性別にかかわらず、どんな職業でもなれます。目標をもって一生懸命、目標に向かっていけば、きっと実現すると思います。

- 【インタビュー項目】
- Q1 医学部をめざそうとしたきっかけは？
 - Q2 大学の楽しいところ・やりがいを感じるところ
 - Q3 将来はこんなスタイルで働きたい
 - Q4 将来に向けての目標・希望は



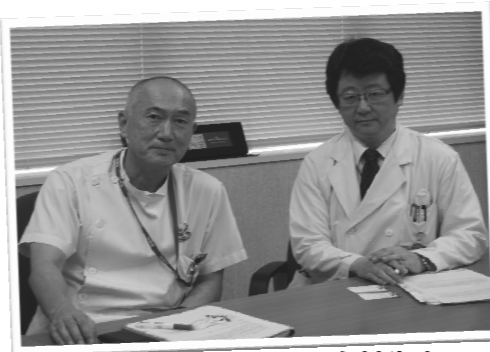
ドクターヘリは、初期治療に必要な医療機器を積んだ救急専用のヘリコプターで、愛知医科大学病院は、平成14年1月からドクターヘリ事業の基地病院となっています。

愛知医科大学「男女共同参画プロジェクトチーム」

2人が学んでいる愛知医科大学では、昨年からは、大学・病院で働く教職員が、男性も女性も性別にかかわらずいきいきと活躍できるように、「男女共同参画プロジェクトチーム」を立ち上げ、取り組みを進めています。そこで、男女共同参画プロジェクトチームのチーフである鶴澤先生と今村先生にお話を聞きました。

* プロジェクト立ち上げのきっかけは？ *

今、愛知医科大学では、多くの女性医師が男性医師とともに活躍しています。このような中で、女性医師が働き続けながら、安心して出産、子育てができる環境をつくるために平成22年に結成しました。具体的には、保育環境や多様な勤務体制の整備をめざしています。そうすることで、女性医師、男性医師がともに、子育てをしながら働きやすい職場になればと考えています。



鶴澤先生 今村先生

* どんなことをしているの？ *

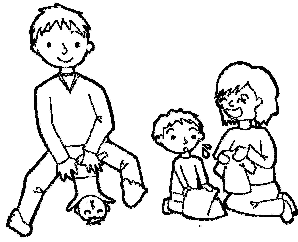
まず、医師や職員を対象に、育児と職場環境に関するメールによる悩み相談を始めました。そして、育児と仕事が両立しやすくなるように、短時間勤務制度をつくりました。また学生を対象に、若手医師の実際に働いている体験談を聞ける講座を設け、将来のお手本を示すことで、医学部生がしっかりと将来の目標を持てるようにするとともに、先輩医師とのネットワークをつくる機会を提供しています。

～ みなさんへのメッセージ ～

医師の世界は、性別による差は全くありません。「女性だから」「男性だから」といってできないことは一つもありません。患者さんのためにも、病院では男性医師、女性医師がともに働くことが大切ですし、男性看護師も増えています。愛知医科大学は、大学、病院全体で、働きながら出産、子育てができるようにサポートし、男性も女性も働きやすい環境をつくっています。

男女共同参画社会が実現すると、素敵な社会が待っています！

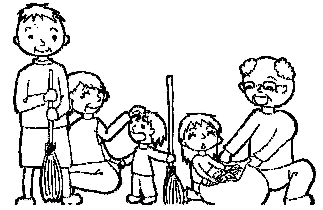
家庭では☆



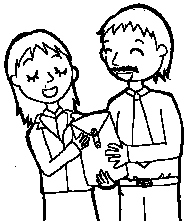
料理・洗濯・そうじ…家族みんなで協力して行います。家族みんなで一緒に行くことで、家族間の会話が増え、毎日明るく楽しく過ごせます！

地域では☆

同じ地域に住むいろいろな年齢・性別の人が一緒に地域の活動に取り組んだり、一緒に地域の課題を考えることで、みんなが住みやすいまちになります。



職場では☆



一人ひとりが性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮して、生き生きと活躍しています。女性の電車の運転士や科学者、男性の保育士や看護師など、今まで少なかった職業に就く人が増えています。最近では会社の中に託児所を設けるなど、男性も女性も、子育てをしながら働き続けることができるように工夫する企業も増えています。

すてきな関係きずけてますか。なくそうデートDV

人と人との関係で大切なこと。

それは「自分のことを大切にする」こと、
それと同じくらい「相手のことも大切にする」こと。
みなさんは、普段から心がけていることですね。

でも「好きな人」との関係で、こんなことはありませんか？

例えば、自分の気持ちを無理やりおしつけたり、
他の友達とのつきあいを邪魔したり、
ケータイを勝手にチェックしたり…

これでは「すてきな関係」とはいえませんがね。

いつもは優しいのに突然怒り出す

ごめんなさい…

女のくせに、うるせえーんだよ！



ほかの女の子とメールするなんて許せない！

友達づきあいは僕の自由なのに…

ケータイを勝手にチェックする

自分の気持ちを大切にしながら、相手の気持ちも尊重することで、

「好きな人」との、そしてあなたのまわりのすべての人とのすてきな関係をきずいていきましょう。

◆イラスト協力◆

この情報紙に掲載されているイラストは、愛知医科大学医学部の学生の協力により作成しました。

イラスト 愛知医科大学3年 真野くる美さん他

編集 長久手町男女共同参画審議会
発行 2011（平成23）年10月
長久手町役場まちづくり協働課
〒480-1196
愛知郡長久手町大字岩作字城の内60番地1
TEL 0561-63-1111（代）
HP <http://www.town.nagakute.aichi.jp>